

2025/4/14 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 7章 7節 (新約聖書 11頁)

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。叩きなさい。そうすれば、開かれる。誰でも、求める者は受け、探す者は見つけ、叩く者には開かれる。

与えられる

最初に「求めなさい」とありました。何か専門分野を「道」といいます。そしてその道を極めることを「求道」といいます。また「探しなさい」とありました。新たな事実を「探す」ことを「探究」といいます。知識と技能を学習すると共に、さらに突き詰めて、未知の世界を明らかにするという意味です。

そして「叩きなさい」とありましたが、ある先生に師事する、教えを乞う人のことを「門下生」と言います。また宗教はもともと「宗門」でしたから、お寺の入り口を「山門」、信徒を「門徒」といい、教えから逸脱すると「破門」とも言います。求める、探す、叩くという表現は、ある道を極めていく姿勢のことを言っています。

ところが、ここでイエスが言っているのは「与えられる」「見つかる」「開かれる」という約束です。つまり努力した結果の資格とか、競い合った末に選ばれるという話ではありません。それは一つの結果、通過点です。あなたがその道を求め続け、探し続け、門を叩き続ける姿勢、そのものが恵みであり、導きだということです。

その渦中にいる時は夢中で何もわかりません。また何度も迷い、焦り、立ちすくみ、震えます。でもそれもお覧になって、知っておられます。なぜならすでにあなたの道は備えられ、用意されているからです。だからたとえ失敗や過ちを重ねても、ただ約束されたものが備えられていると信じ、祈り求め続けることが大切です。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたの祝福の下に新年度が始まりました。戸惑いながらも少しずつ歩み始め、あなたの恵みと導きに感謝しています。部活動や将来の進路を考えている英和生がいますが、どうかあなたの御心に適う道を祈り求め続け、歩んでいけますように導いてください。どうか今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン